

#### (参考) 応援し隊事業のPR



県HP

Instagram ログイン 登録する

とくしまの豊山漁村

投稿 86 件 フォロワー 512 人 フォロー中 325 人

rural\_tokushima

徳島県豊山漁村の投稿課です。  
徳島県の豊山漁村（ふるさと）が有する食・農・住・文  
化・自然などの魅力を発信しています！...続きを読む

フォロー メッセージ

受賞作品 フォトコ...

田舎

ログイン 登録する

県SNS

タウン情報誌

ケーブルテレビ

## (11) よくある質問(マッチング編)



Q 4 相手団体がどんな団体か知りたい。

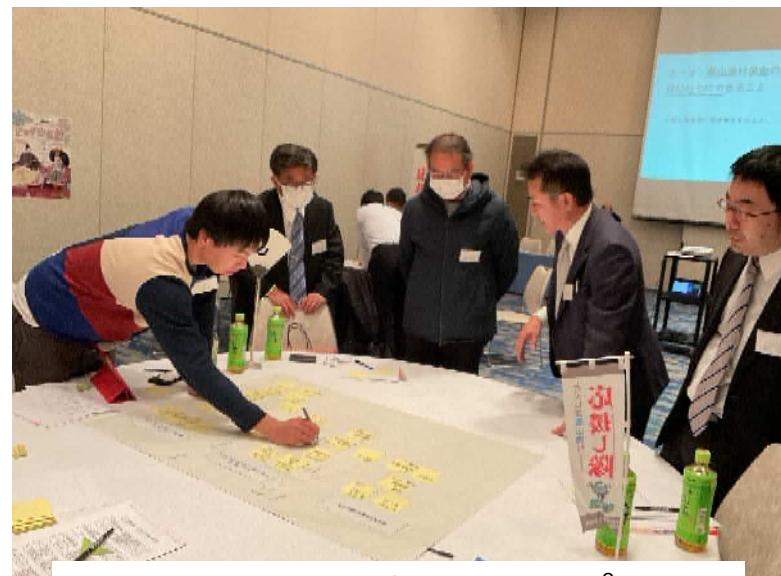
A 4 気になる団体があれば、県にお問い合わせください。県が募集する協働活動以外でも、地域や企業、大学等の連携先をお求めであれば御紹介いたします。また、毎年、「ふるさと団体」「協働パートナー」の交流会を開催していますので、御参加ください。



## 交流会の様子



R 6 クイズ大会&意見交換



R 5 ワークショップ  
お題「農山村保全のために自分たちができること」

## (12) よくある質問(協働パートナー編)



Q 5 企業としてすでに地域貢献に取り組んでいるが、応援し隊に参加するメリットは？

A 5 通年で様々な内容、地域で活動があるので、活動の裾野が広がります。活動の内容は、県がＨＰ、ＳＮＳ、事業パンフレットなどで広く情報発信します。また、参加日数10日以上かつ参加者100名を達成された協働パートナーには県が感謝状を贈呈します。



Q 6 協働パートナーが負担する経費はあるのか？

A 6 協働パートナーである企業・大学、または参加者個人に参加に必要な交通費及びボランティア保険の保険料をご負担いただきます。また、作業に必要な服装や、必要な飲食は原則、参加者個人でご準備ください。

ただし、県で、ペットボトル1本の飲料と軍手の配布、草刈り鎌や収穫ばさみ等の貸し出しをする場合がありますので、個別の募集の詳細を御確認ください。



## (参考)感謝状の贈呈(H26~)



## 【感謝状の贈呈の基準】

- 1 協働パートナーとして県と協定を締結した日以降の協働活動が、累計で10日以上、且つ、累計参加人数が100人以上であること
- 2 「自社商品の提供」の協働パートナーにあっては、協働活動への商品提供の累計回数が20回以上とする。

令和6年度末時点  
感謝状贈呈 19団体

年度	協働パートナー名	主な活動内容
H26	学校法人 四国大学	農村舞台設営、集落の環境整備等
	徳島インディゴソックス球団	「坂本ひな街道」設営、御輿担ぎ等
	(株)リブドウコーポレーション	農村舞台設営、集落の環境整備等
	大塚製薬(株)徳島本部	飲料の提供
H27	四国コカ・コーラボトリング(株)徳島支店	飲料の提供
	(株)阿波銀行	ユズの収穫、集落道の整備等
H28	NPO法人 ウイ・ライク・リバー徳島	里山の景観保全、集落道の整備
	西精工株式会社	農村舞台設営、集落の環境整備等
	中国四国農政局 四国東部農地防災事務所	ごうしゅいも収穫、集落道の整備等
H29	日本酪農協同株式会社 徳島工場	飲料の提供
	(株)徳島銀行	棚田保全、古民家の再生等
	松本コンサルタント	農村舞台設営、集落の環境整備等
H30	(株)福村	飲料の提供
	BX朝日建材(株)	棚田保全、集落の環境整備等
R1	徳島大学	八朔の収穫作業、集落の環境整備等
R2	徳島県農業協同組合中央会	梅干し作り、地域イベント活動支援等
R3	(株)ジャパンビバレッジ徳島支店	飲料の提供
	徳島ペプシコーラ販売(株)	飲料の提供
R5	徳島文理大学	ゆず収穫作業、地域イベント活動支援等

## (12) よくある質問(協働パートナー編)



Q 7 学生は山奥まで行く交通手段がないが、支援はあるのか？

A 7 交通手段の確保が難しい学生や1台の自動車への乗り合わせができない参加者10名以上の場合は、県が現場までの交通手段を支援します。



Q 8 各団体の責任者の同行は必要か？

A 8 必要ありません。当日は県もしくは県の委託業者が進捗管理を行います。なお、前日もしくは当日の緊急連絡先として、参加者全員と連絡がとれる参加者代表の方を各団体毎に事前に教えていただきます。



Q 9 参加者数、参加日数などのノルマはあるのか？

A 9 ノルマは設定していません。各団体の御都合に合わせて御参加ください。



## (13) よくある質問(ふるさと団体編)



Q 1 0 応援にきてもらうのに事務手続きはどれくらい必要か。

A 1 0 ふるさと団体に登録後は、年に1回、年間スケジュールの調査はありますが、応援毎に報告書などの書類作成は必要ありません。



Q 1 1 応援を呼ぶのに費用はかかるか。

A 1 1 原則、ふるさと団体の費用負担ありません。応援に必要な交通費、飲食費、保険料等は協働パートナーもしくは協働パートナー側の参加者個人の負担をお願いしています。



Q 1 2 農作物の収穫作業は応援してもらえるか。

A 1 2 応援は可能ですが、あくまで都市と農山漁村の交流が目的の有志のボランティアですので農作業経験はないことを前提に作業を割り振ってください。

作業によって商品価値を損ねる可能性があること、時間内にノルマを達成できないことをご承知ください。



## (13) よくある質問(ふるさと団体編)



Q 1 3 作業を行うにあたって注意点は何か？

A 1 3 農村と都市との交流を図ることが目的であるので、ふるさと団体と協働パートナーでなるべく同じ場所で、協力して作業を行うようにしていただきたい。



Q 1 4 応援への参加者がいない時はどうなるのか。

A 1 4 応援は中止になります。万が一、応援への参加者がいなくとも作業ができるよう人員配置を行ってください。



Q 1 5 草刈り機を持ってきてもらえるか。

A 1 5 参加の条件として付け加えることは可能ですが、条件を付けるほど参加者は集まりにくくなります。なお、手作業でも人数が集まれば、同じ時間で草刈り機以上の作業を行うことができます。



## (13) よくある質問(ふるさと団体編)



Q 1 6 地域で昼食を作るが、費用の負担を求めていいか。

A 1 6 構いません。参加者に費用負担を求めたい場合、応援の募集時にその旨と金額等を事前に明示しますので事前に御連絡ください。



Q 1 7 参加者にお土産を渡してもいいか。

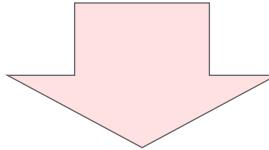
A 1 7 原則、必要ありませんが、お土産、食事を提供いただけすると協働パートナーも喜びます。取り組みを続けるにあたり、無理のない範囲でお願いします。



## (13) よくある質問(ふるさと団体編)



Q18 多くの人に毎年繰り返し応援して欲しいが、どうしたらいいか。



この質問に対しては、過去に実施したワークショップに基づいて回答をしています。

## (参考)平成23年度とくしま農山漁村(ふるさと)応援し隊推進会

①応援しに来てくれてうれしい協働パートナー  
ふるさと団体 協働パートナー

・若者が来てくれるとうれしい。

☆学生さん、大学生の方々とワークショップをしたい。

☆学生さん（1泊2日ぐらいの長期体験）。

☆小学生～大学生まで

☆若者、学生（大学・高校）（四国大学以外に経験無し。）

☆若い人が沢山来て欲しい。

・幅広い交流ができるとうれしい。

☆人年齢は問題ない。

☆いろいろな職業の人。（特定の業種ではなく。学生も含めた。）

☆一般人（大人）

・地域の活性化をうながしてくれるとうれしい。

☆大学の研究として捉えて限界集落について研究テーマとして作業に参加して欲しい。※土、日に限らず参加できるのでは？

☆事業化にプラスとなる何かを与えてくださる方に応援して欲しい。

☆オーナー制（水田、果樹）。団体として受付中。

☆企画立案段階から協力してくれる団体さん。

☆同じような団体の活動交流みたいな感じ。

・活動を楽しんでもらえるとうれしい。

☆自然が好きな人。

☆異業種の方からお話を聞かせてもらえるような団体が楽しいかな。

☆農山村の今後の産業に結びつく様な企業の協働パートナーに来て欲しい。

☆新しい情報や提案（知恵）をしてくれるパートナー

・継続して来てもらえるとうれしい。

☆やる気があり、継続した関係が築ける人。

☆毎年来て欲しい。

☆作業を楽しんでもらえるパートナー

☆来て欲しいと思われたい。

今後の活動の在り方を探るため「ふるさと団体」「協働パートナー」が相手の気持ちを想像するワークショップを実施。

「応援しに来てくれてうれしい協働パートナーとは？」とのお題で意見を集約した結果、

「ふるさと団体」が挙げた

- ・若者が来てくれるとうれしい
  - ・幅広い交流ができるとうれしい
- という、

「ふるさと団体にとって協働パートナーが応援に来てくれるだけでうれしい」との意見は、協働パートナーは想像がつかなかったようです。

### 応援し隊推進会の様子



## (参考)平成23年度とくしま農山漁村(ふるさと)応援し隊推進会

## ②また活動したいふるさと団体

## ふるさと団体

## 協働パートナー

## ・理念のある団体と活動したい。

☆生活の知恵技術がある。

☆活動内容と応援団体の理念とが一致している団体

☆事業化を目指して真剣に取り組んでいる方々を応援したい。

☆目的がしっかりしている団体

☆未来の子ども達につなぐ森づくり

## ・地域の事が色々聞けるアットホームな団体と活動したい。

☆(受け入れ側なので回答は控えますが・・・)集落としてまとまりがありいろいろなグループの人々に来ていただきたい。我々は比較的オープンなつもりです。

☆地域の話が聞けるところ。

☆山間地でありますので、できれば海の方と何か活動できれば。

☆未来を見据えて、その目的、目標が明確な団体

## ・活動内容が楽しい活動がしたい。

☆郷土料理が出るところ

☆提供する側から、

・美郷石積み+修復体験

・美郷梅作り(剪定、収穫、梅酒つくり)

・川遊び、キャンプ

・まわりおどり復活プロジェクト(おんど・おどり、夏祭り)とか?

☆個人的には、民宿+ハイキング登山(案内付き)、ピザ釜実習も。

☆楽しく活動できる

## ・地域の子ども達と活動したい。

☆子ども達と一緒に参加できる活動

## ・事務的にやりやすい活動がしたい。

☆活動する日程が、少なくとも1ヶ月前に決まっている団体。業種は特に問いません。(仲間を集める時間が必要となります。)

「また活動したいふるさと団体とは?」とのお題で意見を集約した結果、

「ふるさと団体」か協働パートナーの立場に立って想像した

## ・活動内容が楽しい活動がしたい

という意見については、「協働パートナー」から挙がりませんでした。

「協働パートナー」から多く寄せられたのは、

## ・地域のことがいろいろ聞けるアットホームな団体と活動したい

という意見でした。

## 応援し隊推進会の様子



## (13) よくある質問(ふるさと団体編)



Q18 多くの人に毎年繰り返し応援して欲しいが、どうしたらいいか。

A18 作業中や作業の合間の休憩時間に、応援してもらっている作業の意味、地域の歴史や文化のこと、応援にきてくれてうれしいこと、また次の時にも参加して欲しいことを伝えてください。

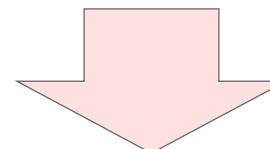
また、応援の募集の際にも、作業内容は「草刈り作業」であったとしても、耕作放棄地解消、お祭りの準備、小学生の通学路の安全確保、地域の景観保全、鳥獣被害対策など、作業の効果や価値を説明すること、また、作業の根底にある地域のストーリーを発信するが大事です。



休憩中の雑談



作業後の地域の魅力発信



とくしま農山漁村（ふるさと）  
応援し隊事業が続いている  
理由かも？

## (例)活動の募集案内

**R7とくしま農山漁村（ふるさと）応援し隊**

**7月6日（日）忌部の里守り隊  
道路清掃**



**募集内容**

作業内容	鳴滝から猿飼集落までの道路清掃
活動日時	7月6日(日曜) 8時～11時半
活動場所	鳴滝から猿飼集落
集合場所・集合時間	7時50分 猿飼分校(美馬郡つるぎ町貞光猿飼134)
雨天の場合	前日に判断
希望応援人数	3名程度
持ち物	帽子、タオル、水筒、手袋、動きやすい服装
ボランティア保険	事務局にて加入手続きいたします

徳島県一の鳴滝からそばの花咲く観光農園のある猿飼集落までの道路清掃です。  
ピンクの可愛い猿飼分校、土釜など見どころいっぱいです。集落の方とお話しながらお手伝いよろしくお願いいたします

**参加に際しての注意事項**

- 活動当日に撮影した写真は、応援し隊ホームページやInstagram、広報等で使用する場合があります。顔が写っている写真を使用する場合もありますので、あらかじめご了承ください。不都合のある方は、当日担当者にお申し出ください。
- 天候や新型コロナの影響等により、中止となる可能性があります。中止の場合は団体の代表者様に連絡しますので、「代表者の電話番号(活動当日につながる連絡先)」をお教えください。
- 活動地までの交通手段についてお困りの方は、条件によっては事務局で手配可能な場合があります。お気軽にご相談ください。

**初募集の活動内容です！**

とくしま農山漁村（ふるさと）応援し隊事務局

株式会社徳島新聞ネクスト

[担当] 東田、三原

[電話] 088-655-7300 [FAX] 088-623-1117

[メール] info2@tpnext.co.jp



Instagram



HP

**R7とくしま農山漁村（ふるさと）応援し隊**

**10月18日（土）上喜来秋祭り実行委員会  
地区内-屋台練り歩き（引き手）  
及び運営手伝い（軽作業及び料理手伝い）**



**募集内容**

作業内容	地区内-屋台練り歩き（引き手）及び運営手伝い（軽作業及び料理手伝い）
活動日時	10月18日(土曜) 13時～17時
活動場所	事代主神社（阿波市市場町上喜来字蛭子2030番地）
集合場所・集合時間	12時半 事代主神社（阿波市市場町上喜来字蛭子2030番地） (車の駐車は境内敷地内可能)
雨天の場合	前日正午に判断(災害級の雨以外は実行)
希望応援人数	5名程度(お子様の参加大歓迎)
昼食	ふるさと団体にてご用意いたします(15時に弁当用意)
持ち物	特になし(動きやすい服装)
ボランティア保険	ふるさと団体にて加入手続きいたします

◇希望者は、応援し隊活動終了後の参加も可能です。夜食の準備もございます。

◇こまめな水分補給、休憩を心掛け、無理のないペースでの活動をお願いします。

**参加に際しての注意事項**

- 活動当日に撮影した写真は、応援し隊ホームページやInstagram、広報等で使用する場合があります。顔が写っている写真を使用する場合もありますので、あらかじめご了承ください。不都合のある方は、当日担当者にお申し出ください。
- 天候や新型コロナの影響等により、中止となる可能性があります。中止の場合は団体の代表者様に連絡しますので、「代表者の電話番号(活動当日につながる連絡先)」をお教えください。
- 活動地までの交通手段についてお困りの方は、条件によっては事務局で手配可能な場合があります。お気軽にご相談ください。

とくしま農山漁村（ふるさと）応援し隊事務局

株式会社徳島新聞ネクスト

[担当] 東田、三原

[電話] 088-655-7300 [FAX] 088-623-1117

[メール] info2@tpnext.co.jp



Instagram



HP

## (14)応援し隊事業の他事業との共通性

応援し隊事業の応援は、当課の他の事業とも共通している。

- ・活動人員の確保・・・多面的機能支払交付金事業

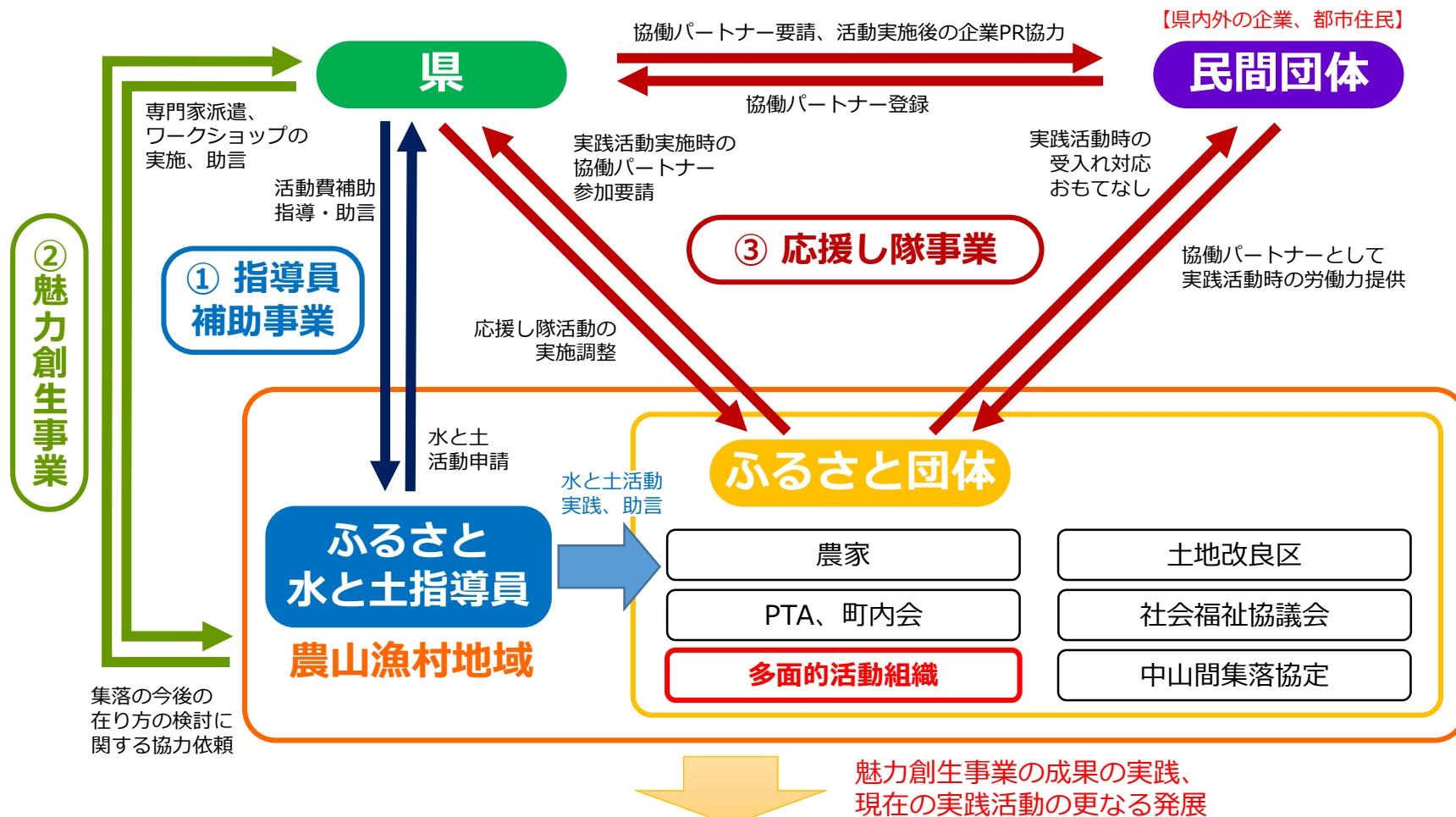


- ・地域が取り組む農用地保全、地域資源活用のツールとして・・・農村RMOモデル形成支援事業



## (15) 応援し隊と他事業との関連

- 当課の各事業は農山漁村地域（ふるさと団体）を応援すると言う点で、つながっている。



「次の一手」への取組の実施（農村RMOへの発展、国庫補助事業の実施）

### 3

## とくしま農山漁村（ふるさと）応援し隊事業の今後

## （1）応援し隊事業の効果と課題

これまでの事業効果として、

- ・イベントやお祭りの継続、産地の維持、環境保全等に一定の効果を発揮
- ・ふるさと団体、協働パートナーともに新たな申し込みも来ている状況

一方で、課題として、

- ・「ふるさと団体」は、高齢化・人口減少、コロナ禍による活動休止期間の影響もあり、活動休止、規模縮小する事例が増加
- ・「協働パートナー」の大半が県内の企業・大学であり、応援する地域、応援への参加者が固定化しつつある。
- ・県外の「協働パートナー」の活動参加が低調

## (2)応援し隊事業の新たな挑戦

## ・県外企業・団体による協働活動への参加促進

徳島県と縁ある県外企業との連携



徳島県人会との連携



## ・より深い地域との関係性を構築

世界農業遺産との  
連携によるCSR効果向上



多面的機能支払交付金事業などの  
地元組織とのマッチング強化



農泊や観光との連携による  
地域経済との好循環を創出



地域により深く、全国から新たな風を呼び込み、関係人口のさらなる増加へ

ありわせ